



WEEKLY REPORT

2008-2009 No.30 2009年2月19日

会長◆鈴木安之 会長エレクト◆臼井 浩 副会長◆矢部房男 村田典昭
 幹事◆三宅 謙 SAA◆桐田吉彦 会計◆市川 浩 ◇広報委員長:石田 隆
 E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL:046-870-6651
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX:046-873-0226

本日の進行(12:30)

堀本 亜紀子氏
「今年の経済と株式の動向」

一次回のお知らせ

2月26日(木)(18:30)

渡邊 貞雄会員
「時計の歴史教室・時計の手作り」

《 第 2288 回 例会記録 2009年2月12日 》

出席報告	会員数 43 名(出席免除 6 名)	出席数 19 名	出席率 51.35%	前回修正出席率 64.86%
ゲスト	横山禎夫氏 (株)パブリックサービス 社長			

■ 会 長 談 話 鈴木 安之 会長

本日の卓話者の横山さんは、千代田化工(株)でトップとして活躍された方です。楽しいお話が聞けると思います。

私、2月7日に誕生日を迎えまして、古代稀なる年となりました。84歳の毛利会員のように元気でいてまだゴルフが出来るという、そういう人生を送ることが出来たらいいなと思います。近頃は若い人が威勢が無く元気がない。戦前、戦後を生き抜いてきた人たちは凄いです。

さて、朝のテレビで「忍ぶ心」についての話を面白く聞きました。忍ぶという字はニュアンスとして“忍ぶ恋”とか、なかなか切ないものを感じます。忍ぶという字を

分析すると、刃と心と書く。刃は凶器であり、凶器を心で支える。心で支えると凶器でなくなる。心で包まれていると忍ぶ気持ちがあるからそこに武士道のようなものが生れる。

恨むことなく、嘆くことなく、悔やむことなく、ひたすらそのことに悟りを開いていく。そこに人生の境地が見出せる、ということでした。

なかなか悟りは開けませんが、「忍ぶ心」を持つことが必要な、と思いました。

■ 報 告

三宅幹事報告: *週報:鎌倉中央 RC 横須賀西 RC
 *第2グループクラブ対抗ゴルフ大会 (10組募集)
 3/15(日)小田原湯元カントリークラブ(担当:石田会員)

2月のお祝い



■ ニコニコBOX (40,000円)

鈴木(安)君…誕生日嫌でも来ます、古稀になりました。
 矢部(房)君…妻の誕生祝いを頂戴して。
 三宅君、山口君…横山さん、ようこそ。
 松田君…横山様をお迎えして。
 横山君、矢部(光)君…横山禎夫様、スピーチよろしく。
 渡邊君、菊池君、山本(由)君、野手君…横山様、卓話よろしくお祈いします。
 松井君…横山禎夫様、スピーチよろしくお祈いします。
 是非ロータリークラブに入会して下さい！
 毛利君…84歳となってしまうました。最近難聴がすすみ、
 運転免許証の返上を決心しました。淋しいです。

坂井君…最近、酒気帯び運転の刑が重くなりました。運転にはご用心を。
 安藤君…先日防衛省齊藤統合幕僚長を表敬訪問しました。私事都合により来月末迄海外へ出かけます。よろしくお祈い致します。
 桐田君…昨夜は浴びるほど飲みました。
 河野君…体調不良のためご迷惑をおかけしました。
 福嶋君…元気です。
 村田君…呼ばなくても必ず春は来る。
 ニコニコBOX 本日合計 ￥ 40,000
 累計 ￥ 1,147,000+



将来展望——一定年延長が必要

定年に関する日本のシステムを根本的に見直す時期にきている。定年選択制とか、75歳程度まで延長する等々、国家的レベルで検討すべきである(年金制度、その原資確保方法、雇用慣行等々、社会システムを再構築しなければならない)。

高齢者は貴重な人的資源。定年制は国家的な損失をきたしている。働く機会を奪われた高齢者は自分の存在意義—誇りを見失う。

なぜ高齢者は働くのか

健康のため、世のため人のため、友人を得るため、収入を得るため、家人に邪魔者扱いをされないため・・・生きる意味を探している。

(株)パブリックサービスの経営フィロソフィー

安全第一、人命第一。 順法経営。 サービスの品質を上げる。 堅実経営(赤字は出さない、投機はしない)。 地元経済の発展に協力する。

高齢者がハッピーに働ける環境をつくるには

「誇り」を尊重する—これが一番大切。働いてきた実績に敬意をはらいつつ年長者として対応する。現役時代の地位や学歴は関係ない。高齢を理由に仕事で手を抜くことを許さない—甘やかさない。危険な仕事はさせない。

(株)パブリックサービスの今後の課題

団塊世代の60歳リタイアが昨年あたりから始まり、セカンドライフの職場を求める人たちが増加する。それに対応するため職場を開拓していく。

経営手法上の留意点

原価を正確に把握、月次決算。リスク・マネジメントを十分に。固定費の増大を避ける—本社社屋は粗末で良い。ケチと言われることを恐れない。

(株)パブリックサービス 設立の目的と現況

- *1991年設立 資本金1,040万円
- *株主: 逗子市(51%)、横浜銀行、三浦藤沢信用金庫、湘南信用金庫、逗子市商工会など。
- *目的: ①逗子市在住の高齢者に生き甲斐を与えるために職場を準備する。②増え続ける高齢者の能力を社会のリソース(財産)として活用する。
- *常時80~90名を雇用。事業内容は、私営駐輪・駐車場・児童公園・ハイソグーの管理、福祉バスの運行、環境クリエーターでのビン缶の選別、学校開放の支援業務など。民間からの受注もある。
- *シルバーサービス事業(平成18年~、会員登録制)は障子張り、日曜大工、パソコン指導、留守宅見回りなどの仕事をする。
- *なぜ「株式会社」か? ・「社団法人シルバー人材センター」方式より優れている。

★ 第2グループ INTERCITY MEETING (I.M.) 3月28日(土)14:00~19:10 於:ロフォス湘南

テーマ「I am a Rotarian」 登録料 7,000円(クラブ年会費より一括して支払います)

登録受付 13:00~ 点鐘 14:00 本会議終了 17:10 閉会式終了 17:30 懇親会 17:40 閉会 19:10

ホストは葉山RCです。逗子RCに協力要請がある予定です。その際にはご協力をお願いします。

コラム

職業奉仕に因んで、私の職業である弁護士の仕事を紹介します。弁護士の収入は、事件を受ける時に支払われる着手金と、勝訴・和解・無罪・執行猶予の結果が出た場合に支払われる成功報酬が主たるものです。報酬額は事件の規模を金額に換算した価額によって決まります。労力の大小は関係ありません。例えば、すぐ和解ができて労力を使わない場合でも、散々苦労して資料を集め準備を万全に整えた結果勝訴となっても収入は変わりません。まさに結果主義の世界です。

私の場合、ほとんどが刑事事件ですが、被告の大多数が私選弁護を依頼する資力はありませんので国が代わって報酬を支払ってくれる国選弁護です。国選報酬は私選報酬の四分の一にも満たない額です。刑事弁護では、被告が否認している場合は法律に従って被告の主張を代弁証拠の証明力を争うこと、被告が有罪を認める場合は刑を軽減する事情を訴え被告に有利になる弁護をすることです。それ以外にも被害者の被害感情を和らげるために示談を取り付けることや被告の親族の悩みを解消するため相談を受けるなどの雑用が多々あります。これが私の職業奉仕です。苦労の割に報酬には恵まれない仕事ですが、おかげで高齢者ながら心身ともに健康を保ちながら未だ現役である自負を持たせてもらっています。

会報編集委員 坂井 幸